

共闘発展させ政権倒そう

戦争法廃止へ決意新た

総がかり実行委など 国会議員会館前 3000人

4年前に安倍政権によって安保法制(戦争法)が强行成立された16日、国会議員会館前に3000人(主催者発表)が集まり、戦争で生きる法律いらぬ」と声をあげました。主催は、総がかり行動実行委員会と「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」です。

強行成立4年

総がかり行動実行委などを中心にびっしりと人々が集まり、「戦争させない」と毎月16日に行動を続けてきた。48回目となるこの日は衆院第2議員会館前

つした、総がかり行動実行委共同代表の小田川義和さんは、戦争法廃止、改憲阻止の決意を新たに「安倍政権を打倒するたかひを広げていこう」と呼びかけました。市民の代表が次々とスピーチ。日本体育大学教授の清水雅彦さんは、「それぞれの立場で声をあげ続け、選挙で安倍政権を変えよう」と語りました。野党の国会議員が多数参加し、日本共産党の田村智子副委員長、立憲民主党の佐々木隆博副代表、国民民主党の木戸口英司参院議員、社民党の福島みずほ副党首があいさつ。田村氏は、この4年で市民と野党の共闘が大きく発展してきたとのべ、「これ以上、安倍政権に政治を任せるとはいけません。私たちは共闘をさらに発展させたい。『野党は政権』の声を一緒に広げてくださ」と訴えました。



戦争法の廃止を求めて抗議の声を上げる人々 11月19日、衆議院議員会館前

9/20
赤旗